

砥鹿

三河國一之宮 砥鹿神社

平成27年 薰風号 (120号)



例祭 流鏝馬

社頭点描

崇敬会大祭並総会開催

三月十四日に崇敬会大祭並総会が開催され、約百二十名の会員が出席した。

午前十時に拝殿にて会員の身体健全・生業繁栄を祈願した後、参集殿にて総会を開催。

今年は新城市出身の航空評論家、小林宏之氏を招き、「大空から学んだこと」と題する講演を行った。危機管理能力が必須である航空機の機長として長年活躍してきた氏は、さまざまな航空写真を用いて悠大な地球の姿を紹介しつつ、海外の宗教施設が人工的である一方、日本の神社は自然の森とみごとに調和していると言及があった。

また機長という立場から得た危機管理能力と健康管理のポイントについて話題が移り、危機管理については愚直なまでに基本確認を徹底し、謙虚心と自律心を持って自分自身を磨き続ける事が大事であると提唱。そして健康管理についてはよく噛んで食事をする事、足は第二の心臓と言われるのでよく歩く事、良質な睡眠をとる為にストレスをためない事、感謝する事、生き甲斐を持つ事、健康診断を受ける事の提言があった。

更に、わが国は五感を使って豊かな四季を楽しむ事ができる国であり、はっと驚いたり、感動する事を意識的に行うといつまでも若々しくいられると述べ、皆様も何歳になっても青春の気をもって生活していただきたいとの言葉で締めくくられた。

崇敬会総会のようす



小林宏之先生の講演風景

崇敬会入会のおすすめ

《崇敬会とは》

敬神崇祖の実践と自己研鑽の場

砥鹿大神様の偉大なる神徳を戴きながら、お互いに手を取り合って住み良い社会作りを心がけると共に敬神崇祖の心を大事にし、社会や家庭の幸せを願っていくものであります。

《崇敬会の特典》

- ① 正式参拝をいつでもご奉仕致します。
- ② 崇敬会総会及び各祭典行事のご案内を致します。
- ③ 社報「砥鹿」をご送付致します。
- ④ 崇敬会大祭及び毎月の崇敬会月次祭において会員の家運隆昌・交通安全・生業繁栄・無病息災を祈願致します。

《年会費》※入会金不要

- 名誉会員 一万円
- 特別会員 五千円
- 正会員 三千円

GPSによる奥宮境内境界調査杭設置完了

砥鹿神社奥宮が鎮まります本宮山(標高七八九m)は、往古より神体山として崇められ、全山神領地また御料林として管理され、明治期には山頂より六合目付近までの約三十万坪(九十八ヘクタール)の広大な敷地が奥宮境内地として定められた。爾来千古の杉檜が繁る森厳な境内を維持管理する為、今日に至るまで神職氏子等により相当な苦心が払われてきた。管理に当たっては、境内境界各所に設置した石塚や、目じるしとして植えた桜の木等を頼りとして間伐や植林が進められた。

しかしながら、雑木や下草が繁茂する山中に於いては境界目印を辿る事は困難を要する為、此の度GPS装置(衛星測位網システム)を用いて、既存の境界目印を計測すると共に、新たに境界調査杭を設置することとなった。

調査は、職員三名により昨年四月より始められ、本年三月を持って無事終了した。約一年に及ぶ調査で、奥宮境内境界の外周が四、六五八mであることが判明すると共に、新たに設置した一一三本の調査杭の緯度・経度・標高の詳しいデータをパソコン上の等高線に印すことが出来た。更に調査杭周辺の写真資料も掲載し一冊の調査書を作成して、去る三月十五日に神前に奉呈し、奥宮境界調査終了奉告祭を斎行した。

これにより、今後は奥宮境界調査の必要性が生じた場合には、GPS装置を持参すれば設置した調査杭を容易に探し出すことが出来、奥宮境内の財産管理及び保全また境内林の保護育成に資する事が期待される。



田原風・門松奉納

十二月二十八日午前十時より、田原風保存会(会長・松井克雄氏)の参列のもと、田原祝い風一枚の奉納奉告祭を斎行致した。風の大きさは縦約一・二メートル、横約二・二メートルで、奉納は四年連続となる。風には本年の干支である未の親子が描かれており、未のように穏やかな一年になって欲しいとの思いで製作したとの事。参拝者達に地元東三河の伝統文化を広く伝えようと現在は南神門前に飾られている。

また同日午前十一時より、「三州はりこ会(会長・石河孝一氏)より門松二対が奉納され、奉告祭を斎行した。同会からはこれまで夫婦白鹿と子鹿の張り子計三体を奉納いただいております、今回は正月らしい雰囲気高めようと門松を奉納。難を転ずるといふ南天や松竹梅など縁起のよい植物があしらわれ、境内南神門前と参集殿とに飾られた。



田原風保存会の皆様



三州はりこ会の皆様

蔬菜品評会開催



初詣の参拝者もできばえに感心

正月期間中摂社前の参道沿いに、今年も一宮蔬菜組合の方々から多くの蔬菜が奉納され、初詣に訪れた参拝者の目を和ませていた。これに先立ち十二月三十一日には社務所にて審査会が行われた。結果は以下の通り。(重複有り)

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 砥鹿神社賞 | 今泉 | 直維殿 |
| 経済連賞 | 今泉 | 文芳殿 |
| ひまわり農協優等賞 | 三浦 | 俊雄殿 |
| 一等賞 | 三浦 俊雄殿 | 今泉 直維殿 |
| | 今泉清二郎殿 | 三浦 大和殿 |
| | 今泉 満夫殿 | 近田 陽一殿 |
| | 今泉清二郎殿 | 今泉 壮登殿 |
| 二等賞 | 今泉 直維殿 | 安野 隆殿 |
| | 今泉 敏郎殿 | 熊谷 紀恵殿 |

豊川警察署より感謝状贈呈

車社会の現代において交通安全の崇敬篤い当社では、年四回交通安全運動週間中職員が沿道に立ち、シートベルトの着用や飲酒運転の撲滅を呼び掛けるなど、街頭啓発活動を実施している。今年も一月七日付にて、豊川警察署より感謝状をいただいた。



豊川警察署長からの感謝状

神社初詣旅行実施

一月二十九日に、恒例行事である神社初詣旅行が実施された。今年には六十八名が参加し、摂津国一宮の住吉大社(大阪市)を正式参拝した。そして昼食は「つばらや」にてふぐ会席を堪能、通天閣にも登った後、十日戎で有名な今宮戎神社を参拝した。

剣道教室神宮参拝

春休みのレクリエーション企画として、三月二十六日に砥鹿神社剣道教室生徒が伊勢神宮両宮を参拝した。おかげ横丁にて昼食をとった後、午後からは二見興玉神社と二見シーパレスを訪れた。



二見興玉神社の夫婦岩にて

崇敬会文化講座実施

四月九日に崇敬会文化講座「東海道五十三次宮宿探訪」を実施し、二十名の参加があった。本講座は地元や近隣の文化・歴史の認識を深める事を目的として昨年より開催しており、今年には東海道五十三次の第四十一番目の宿場である宮宿を選定。一行はまず宮の宿場である宮宿を選定。一行はまず宮の渡し公園を訪れ、ついで熱田神宮を参拝。さしめんの昼食をとった後に名古屋城を見学した。

一宮とが交通少年団 活動報告

一宮とが交通少年団では一月四日に、樹木のみくじ取りや境内清掃を奉仕。また二月八日には、たこ焼き・ケーキ等の調理を行い団員相互の親睦を深めた。そして三月二十七日には長久手市のトヨタ博物館見学を通じて、自動車の歴史に触れ、また愛地球博記念公園にも訪れ、記念館見学と春の青空の下、園内遊具で元氣よく遊んだ。



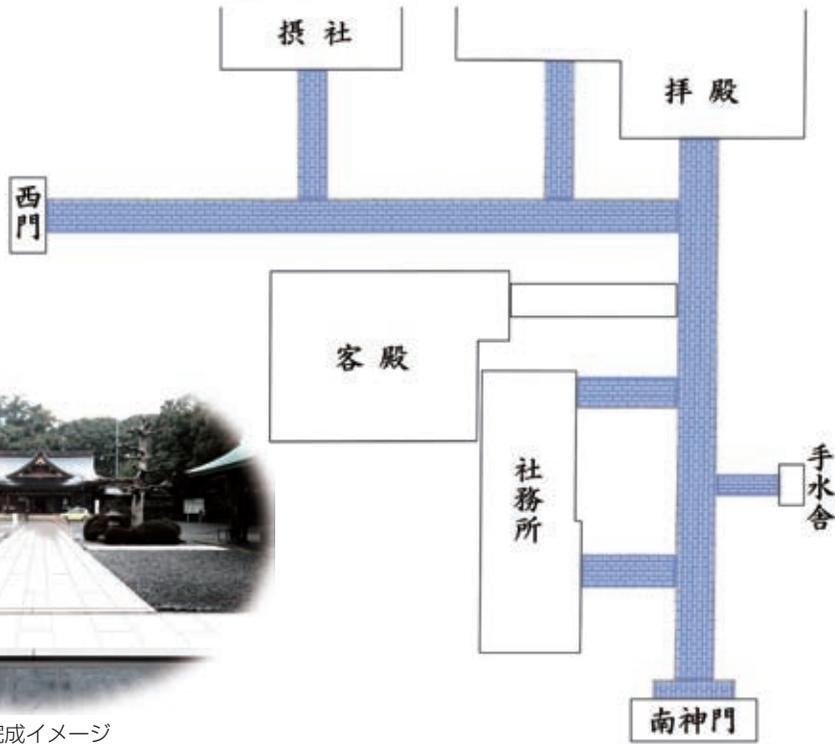
トヨタ博物館にて (3月27日)

参道敷石
改修の
おしらせ

現在の参道敷石は鉄筋入りコンクリート洗い出しの石畳ですが、昭和三十八年に作られてから既に五十年余りが経ち、あちこちに亀裂が生じ、つまづくおそれがある為、六月より九月にかけて御影石畳に改修する工事を行います。

工事箇所は左図の通り拝殿前から南神門までの参道、西門からの参道、社務所前参道等で、工事面積は約五一七㎡、総延長は一六八・二mです。参拝の御不便をおかけしますが御理解の程お願い致します。

N4 参道改修場所 (青色部)



参道完成イメージ



砥鹿神社例祭

今年も豊橋駅構内に流鏝馬
立体模型を展示致します。期
間は四月二十三日から五月五
日までです。ぜひ御覧下さい。



献花祭

五月三日午前十時

献花の儀が華道家元池坊豊
橋支部の御奉仕により行わ
れ、例祭期間中は参道沿い
にて生花が展示される。



生花展

例祭

五月四日午前十時

当社における最大の祭典で
あり、献幣使参向のもと、幣
帛が奉献され、皇統守護、国
家安泰が厳肅に祈念される。

神幸祭

五月四日午後二時

氏子から選り出された方々
の御奉仕により、本社より八
束穂神社まで、神輿行列によ
る渡御が行われる。



後鎮祭

五月五日午前十時

例祭をとおこおりなく齋行
奉仕した由を奉告し、御神恩
に感謝する祭典である。



となり、疾走する馬上で手
を伸ばし布引をたなびかせ
る。尚、前日三日午後四時
には試乗式がある。

神御衣奉献祭

五月三日午前十一時

御祭神の御衣替の為、田原
市にある神宮神御衣御料所よ
り神御衣が納められる。

宵宮祭

五月三日午後三時

例祭の始まりの由を奉告
し、神事が盛大裡に齋行され
る事を祈る祭典である。

流鏝馬式

五月四日午後四時

お祓いをうけた十二頭の
馬が、神門前より荒羽々気
神社までを勇壮に駆け抜け
る。騎児は小中学生が対象

学童祭

五月五日午後一時



学童祭書道展



学童祭図画展

豊川市内の小中学校生徒より募集した図画書道作品を本社に掲示し、生徒の学業向上を祈る。また入賞者に対して表彰式が行われる。



子供の日祭

五月五日午後二時

端午の節句のこの日に、子供の身体健全、健やかな成長を祈る。東三河各地の男女幼児を集め、色鮮やかな稚児装束を身に付けた後、境内周囲を参進する稚児行列が行われる。



稚児行列

例祭奉納中学校・高等学校
弓道大会 例祭奉納少年少女
剣道大会 五月五日終日

例祭奉祈行事の一環として、青少年の教化育成を図るべく、東三河高等学校・中学校の弓道大会が弓道場にて、また三河地方の少年剣士約五百名による剣道大会が神門前広場において開催される。



剣道大会



弓道大会

お茶祭り

六月二十一日午前十時

新緑の瑞々しく映える初夏の風物詩として茶摘みが挙げられます。毎年この新茶を豊橋・豊川・新城・額田・設楽、そして静岡県など三河・遠江の各茶業関係者が大神様へお供えし、盛大に祭典を斎行、献茶式を松月流宗匠が御奉仕し、茶業関係者と松月流一門が拝殿一杯に参列されます。祭典終了後は参集殿においてお茶会が開かれます。また当日境内には無料拝服所が設けられ、お詣りの方々に新茶を振舞います。ご家族、ご近所の皆様お誘いの上、お越し下さい。



粥占祭斎行

去る正月十五日早朝、本宮山奥宮において粥占祭を斎行した。粥占祭は古来より三河地方に篤い信仰を持ち、農業・漁業の豊凶を上・中・下に分けて占う神秘的な祭典である。結果は以下の通りであり、今年は特に砂糖の出来が良いと卜定された。生業の指針とされたい。

| | | | | | |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 日五十月一 | | 占粥御山宮本 | | 年七十二成平 | |
| 下 | | 中 | | 上 | |
| あはしごあおを | うあかひわあさわお | さくころそあわまきさ | さくころそあわまきさ | さくころそあわまきさ | さくころそあわまきさ |
| たや | みせぶとせく | さつまい | さつまい | さつまい | さつまい |
| かう | のづひ | む | む | む | む |
| ぼう | れむたいむ | もはぎ | もはぎ | もはぎ | もはぎ |
| わくがまはねぼ | ほふきこえぎねもねぎ | もはぎ | もはぎ | もはぎ | もはぎ |



お知らせ

西参道石鳥居文化財の 説明看板が設置されました

平成二十五年一月二十一日に豊川市有形文化財の指定を受けた国道一五一号線沿いの石鳥居の北隣に、今春豊川市教育委員会の手により説明看板が設置されました。

この石鳥居はもともとは旧市田村（現豊川市諏訪西町）に本宮山を遙拝する為に建てられたものですが、昭和二十年八月七日の豊川海軍工廠空襲により被災し、今尚被弾痕が随所に残っています。戦争の悲惨さを伝えるものとして昭和三十一年に現在地に移転しました。終戦七十年の節目である本年、改めて平和の尊さを考えたいものです。



平和のシンボルである石鳥居

末社守見殿神社に鈴緒がつけました

里宮末社守見殿神社は、

西門北の奥まった場所に鎮座し、大己貴命の和魂（にぎみたま）・鹿の神である

迦久神（かく

のかみ）・食物を司る倉稻魂神（うかのみたま）の三柱をお祀りしています。今春この社

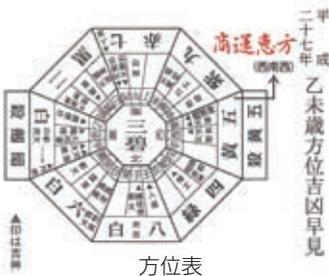
殿に長さ90cmの鈴緒を設置しました。大己貴命は縁結びの神様としても信仰を受けており、鈴緒の持ち手には「良縁」と彫られています。男女の縁や仕事の縁等、良い縁に恵まれますようご参拝下さい。



守見殿神社

商売繁盛恵方神札のおすすめ

平成二十七年の恵方は西南西です。商売繁盛恵方神札を事業所の恵方におまつりし、事業所に商機（しよき）を招き入れますよう。



方位表

恵方にまつるための簡易神棚を付けて授与いたします。初穂料は二千円です。

夏越大祓参列の御案内

六月三十日午後四時より、夏越大祓式を斎行致します。このお祭りは、生活の中で、知らず知らずに生じた罪やけがれを祓い清める神事で、あり、茅の輪をくぐり、無病息災を祈る人々の姿は、夏の風物詩となっています。夏越大祓は、どなたでも御参列できます。



年男・年女(豆まき奉仕者(敬称略))

節分祭

午前の部

伊藤 隆雄
 今泉 時夫
 大友 堅治
 岡庭 仙吉
 川合 克也
 野沢 輝
 野沢 友美恵
 半田 充伯
 祖父江 美奈子
 近田 陽一
 中村 久志
 山本 弘藏
 山本 芳博
 今泉 直維
 松下 進
 内藤 仲一
 桑田 真澄
 近藤 明
 浦山 貴之
 浦山 知也
 鈴木 健太郎
 横田 智秀
 伊藤 満男
 伊藤 和男
 浦野 隼次
 香取 武
 神島 崇

豊川RC

内藤 雄功
 石黒 担史
 石原 勝好
 加藤 晃司
 神谷 親典
 神谷 豊
 久具 信夫
 白井 利明
 陶山 嘉伸
 竹本 尚美
 田中 粹人
 寺部 重人
 寺部 元
 戸田 俊晴
 鳥居 信行
 日比 嘉男
 藤野 和裕
 牧 昌夫
 森久 宏
 山本 学
 渡辺 治
 渡辺 稔明
 滝下 勲
 浅野 晋
 井指 光基

豊川宝飯RC

山脇 実
 今泉 淳乙
 鈴木 克昌

午後の部

星野 順一郎
 楠 芳高
 小笠原 喜好
 金沢 政樹
 権田 まゆみ
 坂卷 邦彦
 素保 宏文
 瀧川 正喜
 竹内 臨通夫
 田村 幹洋
 戸田 英志
 中島 忠幸
 夏目 工
 原田 幹也
 星川 和伸
 丸山 明敏
 森 美智明

新城RC

井指 和昭
 伊藤 正幸
 岩瀬 靖宏
 太田 稔
 大場 篤
 柴田 勝
 内藤 泰通
 夏目 雅康
 宮崎 眞一

今枝 宗一郎
 小林 泰志
 野中 宏樹
 藤原 清
 今泉 孝夫
 島田 孝夫
 田中 道夫
 野沢 晴茂
 今泉 都志弘
 梅村 武司
 白井 清一
 林 伸之
 牧野 英幸
 今泉 茂
 真木 康次
 藤谷 公治
 磯村 孝一
 久保 田裕三
 田中 雅子
 石川 雅祥
 藤井 聡暢
 川西 克司
 川西 正克
 香田 真利
 榎林 誠一
 増田 平治
 鈴木 健雄
 中野 明美
 山本 育宏
 安藤 隆祥
 古川 隆
 宇野 茜
 新田 功智



今年も賑やかに斎行

加藤 佳之
 大山 薫
 田中 恒平
 竹内 優子
 吉沼 吾一
 前地 政好
 上原 俊雄
 佐藤 嘉昭
 佐野 恵一
 菅原 純
 瀬野 尾良兵
 鈴木 昌敏
 林 利一
 鈴木 哲朗
 榎田 卓弘

本宮山麦とろ会

本宮山に登ろう会 山城 康司

本宮山に登ろう会による第十三回麦とろ会を、平成二十六年十二月七日(日)に、本宮山頂の砥鹿神社奥宮参籠所で行ないました。当日は、十二月としては早い初積雪となり、遙拝所からは、富士山がきれいに眺められました。

今回は、約四十名。最高齢九十三歳の佐竹敏夫さんを筆頭に、最近登り始められた方など様々な方の参加で、会がおおいに盛り上がりました。「麦とろ」での会食をしながら、登山話や本宮山の魅力を語りました。そして、原田先生によるマジックで、皆さんが楽しい時を過ごしました。

参加者全員の声

●今年で、九十三歳となりました。今は危なくて登れないが、遠くから、お参りしております。お陰様です。頑張ります。

●年一回の麦とろ会で、みんなの自慢話を聞くのが楽しみです。

●私は、来年傘寿を迎える年になります。これも本宮山に登っているためと感謝しています。これからも、体調に合わせて登ります。

●真っ白な富士山を見ることが出来ました。本宮山も初雪ですばらしい参拝ができました。有り難うございました。

●本宮山素晴らしい山岩場石段有り水場トイレ有りサルも見物に来るし、そして美しい山道ボランティアの方にアリガトウ

豊川市篠田町 宇野 功一
豊橋市岩屋町 北河 惣扶

●ストレス解消と、トレーニングのために登っています。

●私の健康の全て 無心に本宮山登山会拾伍年

●山歩きが生きがいで、毎回、パワーをもらっています。達成感で満足しています。

●今年も本宮山に登れたことに感謝します。

●本宮山登山は、気分転換にととても良いです。これからもマイペースで楽しく登っていきたいと思います。

●「おはよう」「こんにちわ」元氣よく声かけて、「お元氣ですね」の声に支えられ、今日も笑顔で本宮登山。

●当然のことながら夏は暑く、冬は寒くてへたれてしまう事は多々あれど、百円自販機に助けられ登っています。

●業深き身、神様(大己貴命)に一ツずつ拾っていたたく、できる限り登り続けたい。

●登山回数は少ないですが、さわやかな気持ちで楽しんでいきたいと思ひます。

●大雪の初日、この会に参加できて喜ばしい。来年も参加できるとを祈念する。

豊川市一宮町 今泉 智章
豊川市三上町 鈴木 貴之
豊川市東上町 吉永 一義
豊川市一宮町 清水 厚子
豊橋市中野町 河合 良成
豊川市蔵子 松久 善生
豊橋市富士見台 神谷 憲子
豊川市一宮町 南宮 利行

●「麦とろ会」で楽しい一日を過ごせ、健康に感謝しています。

新城市稲木 南林 茂

●本宮山登山は、健康のバロメーター。良き友とともに一生続けたい。

豊川市三上町 岡本 克仁

●良き友に会うために登っています。後、旨い食事の為に！

豊川市市田町 野々村 武雄

●今年初で山頂では富士山も眺めることができて感動しました。冬景色もキレイでした。

豊橋市馬見塚町 星野 恵里

●本宮山初挑戦で、山頂にて富士山も見られて、麦とろご飯もおいしくいただきました。

蒲郡市神ノ郷町 小田 征矢

●毎朝本宮山を仰ぎ見て、気分新たに一日をスタートさせてます。

豊橋市下地町 加藤 房利

●毎年麦とろ会を楽しみに登っています。登れることに感謝。皆さんとの出会い健康に感謝しています。

豊川市上長山町 小嶋 正則

●やまにのぼったのしかったです。いつまでもきれいなやまでありますように。

豊橋市前田南町 おおき ひまり

●初参加です。健康のため、時々山歩きを楽しみたいです。

豊川市当古町 外山 善啓

●本宮山登山は健康のバロメーターです。行き会う人との会話や笑顔で元気をもらっています。

豊川市東上町 浅井 道夫

●早朝の本宮山、森林の四季を浴び、また一年

豊川市東上町 辻田 宏

●心と体の健康の為、一年を通して本宮山に足を運びたいと思います。

豊橋市佐藤 牧野 衣里子

●いつも皆さんにお会いして元気を頂いています。これからもモチベーションを維持して登り続けたいです。

湖西市鷺津 鈴木 健司

●山頂にわき立つ白雲に活力を頂き、今日も頑張つて登ります。

豊川市御油町 近藤 勝重

●本宮山からきれいな富士山が展望できました。南アルプスの山々も見えました。気持ちがいい

豊橋市八町通 伊藤 眞芳

●砥鹿神社そして荒羽神社、好きです。これからもよろしく

豊橋市北島町 井上 穂

●人生は、うまい酒といい仲間があれば、あとは何もいらぬ。

豊橋市東脇 宇藤 信

●本宮山登山は、健康のバロメーター。精進させていただきます。

豊橋市立花町 富田 正行

●本宮山の山頂より、仰ぐ富士山の素晴らしさ

新城市 一鉄田 中西 光弘

●来年こそはサボらず、日々精進したい…

湖西市鷺津 沢井 敏克

●六十才人生の折り返し点？健康のため山登りを始めました。いつまでも続けたいと思います。

豊橋市前田町 大林 則久

●誉生を充実する人生！本宮山に感謝

豊橋市東小鷹野 牧野 政雄

●人は常に生きねばならぬ。生きるとは変化する事である。チャレン

ジャー○○ 挑戦中 一歩前へ！

豊川市蔵子山城 康司

※今年、十二月六日(日)に予定しています。多くの方の参加をお待ちしています。



御参加いただいた皆様

新崇敬会員紹介
 (平成二十六年十二月一日より、
 平成二十七年三月三十一日まで)
 括弧内は紹介者

名誉会員

豊橋市 (株)平松食品

平松 賢介様
(平松 祝子様)

豊川市

宇都宮工業(株)
代表取締役社長
土井 昌司様
(土井 義昭様)

特別会員

新城市 (有)東京屋美容室

豊川市 鈴木 昭孝様
(近田 常子様)

額田郡 神取 勇様

豊川市 (有)アイエフピー豊川
杉浦 節子様
(夏目 雅康様)

正会員

豊川市 近藤 敏男様
(宇野 功一様)

新城市 阿部田 章様
(森下 節司様)

名古屋市 榎原 英子様
(吉野 由美様)

豊橋市 山本 孝一様
(大竹 末英様)

新役員紹介 (敬称略)

砥鹿神社崇敬会

理事 竹内 優子
平成二十七年二月二十七日

ほのしげ敬神婦人会

会長 徳升美智子
副会長 富田 久子

宮若舎

舎長 鈴木 久志
副舎長 近田 機一

氏子青年会

会長 梅木雄一郎
副会長 今泉 恒久
会計 小林 厚佳
会計補 田中 純平

辞令

巫女を命ずる
松下 紗也

平成二十七年四月一日
砥鹿神社

加藤 智己
巫女を免ずる

平成二十七年三月三十一日
砥鹿神社

平成二十七年四月二十五日発行
 発行所 砥鹿神社社務所
 砥鹿神社崇敬会
 豊川市一宮町
 電話 〇五三三
 九三―二〇〇一
 制作・印刷 アート、タカムラ
 電話 〇五三八
 三四―四九五三



**ブライダルフェア・
 ブライダル相談会開催**

**6月14日(日)
 午前10時～午後6時**